



外観イメージ



内観イメージ

市民窓口センター（中央庁舎）

令和7年度 開庁予定

商業と公共の結び付きによる
「にぎわい」の拠点
となる庁舎を目指して

市民窓口センター(中央庁舎) 整備に向けた取り組みについて

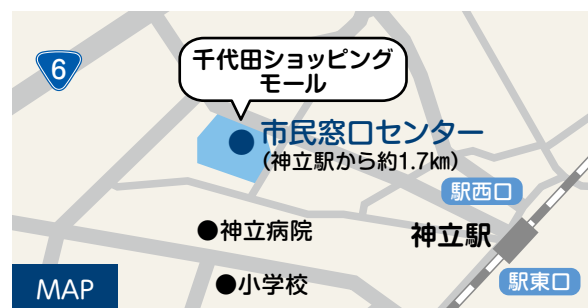
本市では、令和5年6月に公表した**かすみがうら市行政機能拡充プラン**に基づき、商業と公共の結び付きによる「にぎわい」の拠点となる庁舎を基本方針として、令和7年度のできるだけ早い時期の開庁を目指し、令和5年度から整備に向けた取り組みを進めています。

「かすみがうら市 行政機能拡充プラン」とは

公共施設の老朽化対策や執務室の狭隘化などの課題解決に取り組むため、市内の中心市街地に立地する商業施設内の物販店舗を改修して、市民生活に欠かせない市民課や税務課など千代田庁舎1階に配置している行政機能を移転し、より市民に便利で快適なサービスを効率的かつ効果的に提供できるよう行政機能の分散・移転の必要性などを取りまとめたものです。

▼ 整備の計画概要

所在地	かすみがうら市下稻吉 2633 番地 19
延床面積	1,494.65 平方メートル
構造 / 階数	鉄骨造 / 地上 1 階建て
建物高さ	8.0 メートル



目指す庁舎

誰もが訪れやすく 利用しやすい庁舎

- ▶ 行政窓口機能のほか、交流や情報発信のスペースを設け、市民の憩いの場に。
- ▶ わかりやすい窓口カウンターを配置。快適にサービスを受けられる。
- ▶ 市民と職員の動線を極力切り離し、個人情報の秘密性を高める。
- ▶ ベビールームやキッズスペースを設け、子育て世代も利用しやすい。
- ▶ 休憩や待合いなどで利用できるフリースペースを整備。

人と環境にやさしい 持続可能な庁舎

- ▶ 高効率エアコンや高効率照明器具などを取り入れ、省エネルギー化を図る。
- ▶ 十分な通路幅を確保し、わかりやすい案内表示などユニバーサルデザインの考えに基づき整備。
- ▶ 市民のニーズなどに柔軟に対応するため、ユニバーサルレイアウトを採用。
- ▶ カーボンニュートラルの実現に寄与する建材などを積極的に取り入れる。

気になる情報

市民窓口センター(中央庁舎)に 移転する部署は？

現在、千代田庁舎1階に配置している税務課、納税課、国保年金課、市民課、社会福祉課、介護長寿課、子育て支援課および会計課などが移転する予定です。市民窓口センターが開庁するまでは、千代田庁舎での業務となります。

いつ開庁されるの？

令和7年の4月を目指しています。資材の調達状況により、工事遅延が見込まれ開設が遅れる場合は、市ホームページでお知らせします。



▼ 整備の進捗状況(令和6年9月)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
基本・ 実施計画	入札・契約 等の手続き	↓現在状況 整備工事
	供用 開始	

問 検査管財課 財産総括室
(代表) 0299-59-2111